

土木ふれあいフェスタのご紹介



強いトンネル実験



液状化実験



エッキー実験



強い橋の実験



歩いて測量体験



パネルの広場

公益社団法人土木学会は、1914年に設立され、以降、「土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目的に様々な委員会活動や研究、取り組みを行ってきました。

当小委員会は、土木事業や土木技術のステークホルダーである市民にも「土木」への理解を深めていただくとともに、新たな土木技術の継承者となる子供たちを育てるべく、2008年の発足以降、全国各地で「土木ふれあいフェスタ」を開催してきました。

～ これまでの開催地 ～

2009.4 秋田県秋田市 / 2009.10 広島県広島市

2010.10 北海道札幌市 / 2011.10 愛媛県松前町 / 2012.10 愛知県名古屋市

2013.10 千葉県柏市 / 2014.10 兵庫県神戸市 / 2015.10 岡山県倉敷市

実施概要 (平成 27 年度)

- イベント名 ; 土木ふれあいフェスタ in 倉敷
- 開催日時 ; 平成 27 年 10 月 18 日 (日) 10 : 00 ~ 16 : 30
- 開催場所 ; 岡山県 倉敷市 アリオ倉敷 1 F センターコート
- 主催 ; 公益社団法人土木学会 コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
- 協力 ; 公益社団法人土木学会 トンネル工学委員会
- 後援 ; 倉敷市
- 来場者計 ; 486人 (目標 400人)

実施内容

「くらしと安全を支える土木」をテーマに、スタッフがサポートをしながら、参加者には極力自らが見て、触れて、聞いて、考えながら土木に触れていただく場を提供します。

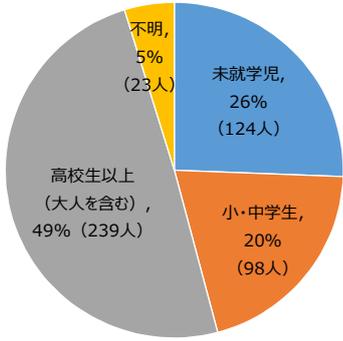
模型や装置、自らの身体を使いながらインフラ構造や液状化現象、測量手法等を学ぶ『体験コーナー』。先人たちがその地域に残した土木遺産や、地域ごとに異なる災害への危険性を整理した防災マップを紹介する『パネルの広場』。小さいお子様でもめりえや絵本を通じ土木を楽しめる『遊びのひろば』など、未就学生から、小・中高生から、高齢者まで、それぞれの立場に応じ楽しめる場をつくり上げています。



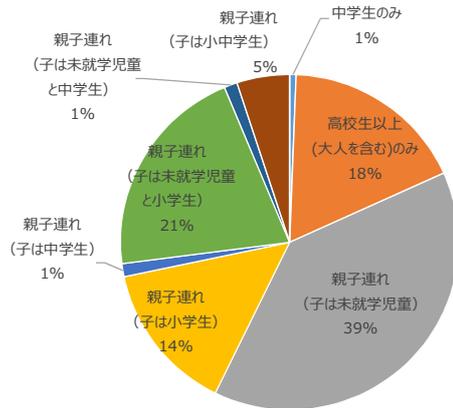
←会場レイアウトの例
(岡山県倉敷市)

アンケート調査結果（平成 27 年度）

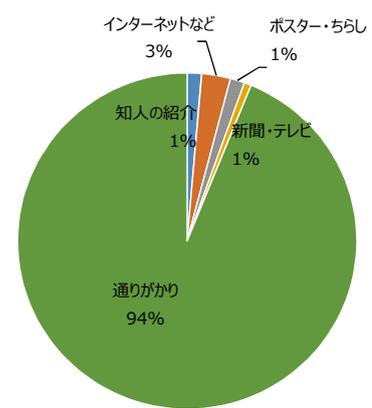
■ 来場者の年齢構成



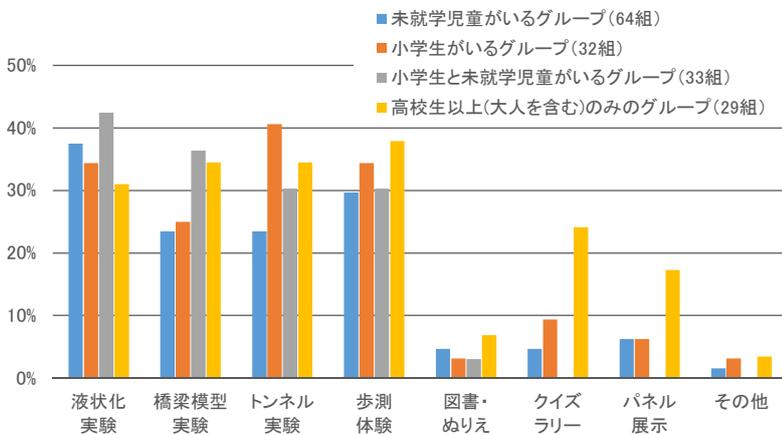
■ 来場者の形態



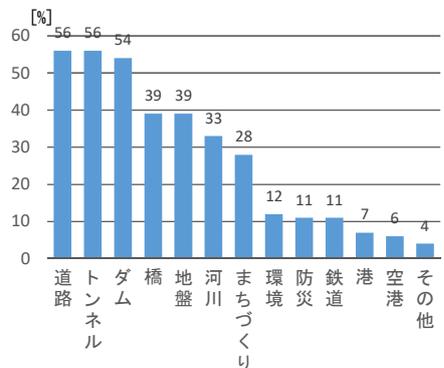
■ 来場者のきっかけ



■ おもしろかったプログラム (参加グループ別回答, 複数回答可)



■ 土木について思い浮かべる言葉 (参加グループ別回答, 複数回答可)



～ 委員会スタッフ ～

黒川信子(日本工営株)／青木真利子(株ドーコン)／加藤ひろみ・柊木洋子(株エイト日本技術開発)／川上佐知(復建調査設計株)／木藤裕子(株アイ.エス.エス創研)／清水陽子(秋田県)／関直子(日本シビックコンサルタント株)／田中晶子／中村恭子(株グレイス)／平澤江梨・堀川真加(前田建設工業株)／溝田景子(建設技術研究所株)／柳澤祥子／山崎美知子／吉田陽一(株大林組)

～ 平成 27 年度 サポートスタッフ ～

中尾歩美(株エイト日本技術開発)／玉置康雄(株エイト日本技術開発)／柏直也(株エイト日本技術開発)／江口泰教(トンネル工学委員会・中央復建コンサルタント株)／宮城大助(トンネル工学委員会・中央復建コンサルタント株)